

低山はいかい倶楽部 報告 2018年8月

低山はいかい 身延山

8月26日(日)から27日(月)

新宿駅と立川駅から乗車した参加者と甲府駅で合流しJR 東海の身延線に乗換して身延駅へ向かう。車内は空いており車窓から自然豊かな甲斐の山々を望みながらはいかい談笑。

身延駅は日蓮宗総本山を抱える駅らしく駅前も綺麗で町の佇まいもいい。タクシーで総本山へ向かう。三門をくぐり久遠寺へ到着、ここで開会式を行い準備体操をして身延山に向かう。総本山に続く287段の菩提梯を息を整えながらゆっくりと登りきると眼前に総本山がありその大きさにはよくぞこの山間に建立したと驚くほど大きな建物だ。

ロープウェイに乗り7分で奥の院に到着。思親閣がある、ここで日蓮が房総に居る両親に想いを寄せた場所。周りはナンテンが多くありスギやヒノキが立ち並ぶ。日蓮聖人が植えたという樹齢700年を超えるスギは迫力がある。近年は長寿のパワースポットとして信仰されているらしい。

思親閣の裏手が身延山(1,153m)の頂上で北展望台があり奥秩父連山、八ヶ岳連峰、白峰三山、荒川三山が遠望でき素晴らしい眺めだ。名山を眺めながらの昼食は格別に美味しい。

南展望台からは駿河湾、富士山、毛無山が見え、眼下に富士川の流れとともに身延の街並みが広がる。西コースを右に七面山、正面に富士山を眺めながら下る。久遠寺に戻る間にマツカゼソウやミツマタの群生があるが花は少ない。

樹齢4,5百年の千本スギは圧巻だ。

身延駅に戻り予約した宿を目指す。宿は湯元であり太宰治や海音寺潮五郎など多くの文豪がこよなく愛した宿らしい。宿の方も人情深そうである。宿自慢の冷泉に浸かり汗を流しゆっくり夕食をして10時就寝。

2日目も暑い朝を迎えた。身延線で甲府にある山梨善光寺に移動して拝観。武田と上杉との川中島の合戦で長野の善光寺が焼け落ちるのを案じて山梨に同じ寺を建て主だった品々を移したという。拝観後、舞鶴城に向かってはいかい。山梨はぶどうの山地で葡萄畑が広がって多種類の葡萄が実っていた。

舞鶴城からは甲府の街並み、遠く四方に山並みが遠望できた。

ここで今回の低山はいかいを終了して帰路についた。

【報告】望月政雄



① 久遠寺・菩提梯の階段・287 段



② ブッポウソウ・三宝とは仏法僧なり



③ 身延山・1153m・背景は南アルプス・北岳・間ノ岳・塩見岳 ④奥の院・思親閣周辺のスギの森



⑤ 思親閣